

## 中国二都市との交流

昨秋、吉田市長が中国を訪問した際、現地の政府系団体から、友好交流都市候補として2都市（黒竜江省綏化市と「浙江省桐郷市」）を紹介されました。

市では今後の交流を考えるにあたり、小野教育長はじめ市関係者らが、3月24日から29日にかけて訪中し、両市幹部との会談や市内施設等の見学を行ってきました。

### ●両市は、どんなところ？

#### ●綏化市

中国東北地方・黒竜江省の省都・ハルビンから北に約120キロにある都市。ハルビン国際空港から高速道路を利用すると90分ほどの所に位置する。主要産業は農業で、人口



小野教育長が桐郷市を訪問(3/27・桐郷市政府庁舎)

の74%が農業に従事し、とうもろこし、大豆、水稲などの穀類のほか、たばこ、麻などの商品作物の重要な生産基地となっている。経済発展も進んでおり、政府の重点投資地域として、食品、医薬品、化学、紡績、建材、農業機械など製造加工企業が進出している。

#### ●桐郷市

上海から南西に110キロ、浙江省の省都・杭州の北東50キロにある。上海や杭州という大都市に近いということもあり、年間200万人の観光客が訪れており、浙江省では海外からの観光客受け入れが最も多い。特に「烏鎮」は、古き良き中国の水郷文化がそのまま



綏化市・聶副市長と握手する吉田市長(4/20・胎内市役所)

保存されており、この地域の一大観光地となっている。また、「桐郷経済開発区」があり、交通至便なことから外国資本の進出も目覚ましく、機械、電子、光繊維など最先端の工場が進出している。

4月20日・21日、綏化市の聶副市長および政府関係者が今後のさらなる交流を視野に、吉田市長を敬訪問し、市内見学などを行いました。

また、4月22日には、小野教育長はじめ市関係者が来日した桐郷市の関係者と会談を行いました。

綏化市とは教育・文化面の人的交流を、また、桐郷市とは観光分野での交流を考えております。



胎内小学校を訪れた綏化市訪問団(4/21)

## 市の第三セクター！新潟製粉第二工場完成

3月31日、新潟製粉株式会社が米粉処理加工施設の竣工式を執り行いました。

場所は、新潟中条中核工業団地（鴻の巣地区）の一画。

第二工場は、敷地面積が8625・26㎡で、鉄骨造2階建て・建築面積2610・64㎡／延べ床面積3386・17㎡で、生産能力は本社工場（近江新）の約1・5倍で日産7・5t。

今後市では、水田を有効に活用し、「旱幹産業である農



業の安定経営」生産調整の完全実施」などを推進し、また、新潟製粉では「安定した原料確保」などにより、米粉の普及に取り組みます。

新潟製粉株式会社は、新潟県が技術開発した「微細製粉技術」による新規米粉を世界に先駆けて実用化するための専用製粉工場を平成10年、旧黒川村に設置。以降、全国に普及・拡大を図ってきました。

第二工場の建設は、米粉の需要拡大に対応したもので、食料自給率の向上や地域活性化、農業振興に寄与することが期待されています。



米粉粉碎室